

燦木会2010年・上半期表彰

●皆勤賞(上半期:1月~6月)

●努力賞

秋澤 七郎

斉藤 哲雄

高尾 武

石井寅三郎

海老沢 均



燦木会歴代上位入賞者(2010年1月~6月)

| | | |
|-----------|-------------|----------|
| 第46回燦木会 | 平成22年 1月21日 | 参加20名 |
| 優勝: 森岡 茂孝 | 2位: 米田 喜明 | 3位: 福地 裕 |
| 4位: 米田 博一 | 5位: 荻原 博 | |

| | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 第49回燦木会 | 平成22年 4月15日 | 参加21名 |
| 優勝: 小川 和朗 | 2位: 鹿倉 武久 | 3位: 船橋 國則 |
| 4位: 斉藤 哲雄 | 5位: 米田 喜明 | ※NR2名 |

| | | |
|---------|-------------|------------|
| 第47回燦木会 | 平成22年 2月18日 | コースクローズ・中止 |
| | | |
| | | |

| | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 第50回燦木会 | 平成22年 5月20日 | 参加10名 |
| 優勝: 高尾 武 | 2位: 斉藤 哲雄 | 3位: 玉木 克彦 |
| 4位: 西岡 守彦 | 5位: 秋澤 七郎 | |

| | | |
|----------|-------------|-----------|
| 第48回燦木会 | 平成23年 3月18日 | 参加24名 |
| 優勝: 中野 弘 | 2位: 山澤 興英 | 3位: 斉藤 哲雄 |
| 4位: 高尾 武 | 5位: 船橋 國則 | |

| | | |
|-----------|-------------|----------|
| 第51回燦木会 | 平成22年 6月17日 | 参加20名 |
| 優勝: 高尾 武 | 2位: 三橋 弘道 | 3位: 中川 彊 |
| 4位: 森岡 茂孝 | 5位: 山澤 興英 | |

燦木会規約

- 名称** 燦木会(さんもくかい)
- 目的** 会員相互の親睦を図ると共に、互いの技量の研鑽に努め、かつ清川カントリークラブの発展に寄与する目的を、緩やかな競技会活動を通し実践する。但し、政治的・結社的活動はこれを排する。
- 入会資格** 清川カントリークラブの会員・非会員を問わず、総てのゴルフを慈しみ、清川カントリークラブを愛し、エチケット・マナー・ルールをわきまえてプレーするゴルファー。
- 会員数** 制限はありません。会員間の協議により随意決定。
- 活動** 原則、月1回のコンペティションおよび競技会終了後の親睦会開催。
半期・通年表彰。
- 会費** 年会費2,000円(4月~3月)。(表彰、会報発行、通信、諸活動等)。
- 役員** 人員数・期間を特に定めず、随時会員の意志・承認により定める。
- 競技会** 原則として月1回、第3木曜日にコンペを行う。組数は7組程度。
- 参加費** 特別大会を除き、参加競技会毎に、1,000円。
- 競技方式** Wペリア方式によるハンディ戦。使用ティーは自由(ただし3種類のティー使用は禁止)。
- 親睦会** 競技会終了後、親睦会合を開催する。飲食は個人の自由にて発注する。会合においては競技結果発表、表彰、会運営等に関する各種討議を行う。

編集後記 幹事間の協議により、半期・通年の表彰規定を改訂いたしました。わかりやすさを第一に、すべてポイント制により情実(?)の入り込む隙間のない制度に改めました。どこやらの国の選挙のごとく、ねじれや数字(正体不明の世論調査なるもの)に踊らされることなく、厳密に適用いたします。
それにしても某国の政治、どうにかしないといけませんよネ。
斉藤哲雄記



Kiyokawa Sunmoku-Club

燦木会会報

Vol-6(年2回発行) 平成22年7月

第48回燦木会(4周年記念)スナッフ(お名前・敬称略)



米田博一 秋澤七郎 高尾 武



中川 彊 中野 弘 滝川麗子 田尾森朗



樋口節子 山澤興英 海老沢均



鹿倉武久 斉藤哲雄 玉木克彦 小川和朗



荻原 博 林 忠夫 天野 望

“体調不良ゆえの滋味深い光景…” 燦木会会長 石井寅三郎



私は膝を痛め数年になり、悪い姿勢の歩行を重ねたためか、腰に負担がかかり腰痛にも悩まされ、5月・6月とゴルフをすることが出来ませんでした。車の運転は膝に負担がかかるので何処に行くのも電車を利用しています。電車賃がこんなに高いことを最近知った次第です。先月の通院の帰り、JR品川駅で小学校1年生位の男の子が勢いよく電車に乗り込んできました。少年は空席を捜しているようでキョロキョロ、座席は満席。私は立っていたので誰かが席を譲るのかどうか注視していました。

その時、「秋葉原メイドさん」のような少女が立ち上がりその少年に席を譲りました。少年はすかさず「お母さんにもうすぐ赤ちゃん生まれるの。お母さんを座らせるのー」と、大きなはっきりとした声で言い、少年の後ろから大きなお腹のお母さんが、恐縮した様子で乗客に頭を下げたまま席に着いたのです。

この瞬間の出来事、乗客のソコソコから拍手が起こりました。電車の中でこの素晴らしい「メイドさん?」「小1少年」に出会えたことに感激。この2人は日本の宝物と感じたものです。まずは膝を悪くし、電車に乗る機会を与えてくれた神様に感謝。

電車に乗ったら痴漢と間違われまいと、言われている事が何としても悲しい昨今ですが、日本もまだそう捨てたものではない。そんな感慨にふけたひとこまでした。